

活動名：第13回福島空港公園杯8人制フェスU10・U12

日程：令和4年6月4日(土)・5日(日)

会場：福島空港公園 緑のスポーツエリア 天然芝グラウンド

参加：J2・E3・E4・T5・T6・L100 47名

帯同：U10：J2・E3 小松コーチ

U10：E4 大森コーチ

U12：T5・T6 設楽コーチ

U12：L100 熊坂コーチ

サポート：佐藤・貝和コーチ

結果：U10：J2・E3 チーム 5位/7チーム

U10：E4 チーム 4位/7チーム

U12：T5・T6 チーム 6位/8チーム

U12：L100 チーム 準優勝/8チーム

全般報告(設楽)

このフェスティバルは13回目を迎え、震災前から開催されてきましたが、アーレが空港公園の事業に協力し、毎年開催していることから、アーレを優先的にいただき参加しています。フェスの内容は6年生以下(U12)、4年生以下(U10)のカテゴリーに分かれてリーグ戦で試合をして順位を決めます。

アーレとしてはこのフェスティバルを皮切りに他大会に出場していくため、年度初めのスタートとなる公式戦として位置付けています。ただ、他のチームは既に様々な試合や大会を経験してきているため、チームづくりが確立されてきているので、アーレとしてはこのフェスでチームとしての戦い方を学ばせる場のため、なかなか厳しい戦いをするのが毎年の状況となっています。

コロナ禍のため、今年も開催延期が心配されましたが、開催することができて良かったです。また、今回の出場チームですが、他チームとの調整で、各カテゴリーに2チームが出場でき、本来ならば6年生以下1チーム、4年生以下1チームの出場なので、4、6年生が主ですが、2年、3年、5年生も一緒に出場できたことは貴重な経験ができて良かったと思います。

そして毎年、雨が心配される時期ですが、雨男?も歳をとり、チカラが薄れてきたのか・・・?今年は珍しく快晴で気温も高く、絶好のサッカー日和となりました。

以下、各チームの報告です

L100 報告(熊坂)

テーマ

1対1の攻守において全力で戦うこと。

ゴールへの意識を高く持ち、積極的にゴールを狙うこと。

試合を経験していく中で成長していけるように考えながらプレーすること。

良かったところ

久しぶりの大会で準優勝出来ました。1試合目の戦いぶりからは想像も出来ないくらい成長したことで得られた結果だと思います。

4・5・6年生9名のチーム構成でしたが、6年生の声掛けが素晴らしくチームの雰囲気をよくしてくれました。

9名全員がこの大会で得点しました。テーマに掲げていた積極的にゴールを狙うということを実践してくれた結果だと思えます。

課題

ドリブル、パス、トラップといった基本技術の部分でミスが沢山見られました。ミスの数を減らすことで得点出来たり、失点を減らせたりもするので基本技術を大切にしたいと思えます。

初日、2日目共に最終戦では足が止まってしまいました。9名でハードワークしているので厳しかったと思うのですが、今後のトレーニングで体力も付けていきたいと思えます。

出来事

2日目のアップでストレッチを行いました。

驚くほど体の硬い人が多くてびっくりしました。

成長痛軽減や怪我の予防、プレーの幅を広げるために毎日のお風呂上りにストレッチをしてくれるといいなあと感じました。

T5・6 報告（設楽）

試合内容

テーマ

選手個々に今ある力を出し切って、一個一個のプレーをしっかりとやり切ること。

この大会は最後となるため、6年生を中心に出場させ、5年生はなるべく平等な試合数（時間）を経験させること。

久しぶりの大会の経験を通して、自分の今の力を感じさせること。

良かったところ

初日は4試合（15分前後半）と多い試合数で体力的に厳しいと思われたが、どの試合もしっかりと向き合い戦えたこと。逆に二日目は3試合であったので物足りない様子であった。

ドリブルで抜けられる場面もあり、ゴールへの意欲が感じられたこと。

試合前にアップは自分たちで行い、試合時間前にはしっかり集合できたこと。

課題

昨年からのコロナ禍で練習ができない自粛期間や大会の中止などで、練習不足が感じられ、また体力の差も個々で出て来ているように思われた。

自分たちが失点するまでの戦いは五分五分の試合運びができたが、失点すると一気に元気がなくなり、全員がディフェンスの意識が高まり相手の猛攻に対して受け身になって相手ゴールへ向かう選手が少なくなってしまったこと。

相手に身体をぶつけて奪うこと（身体を入れる姿勢）ができなかったこと、ヘディングボールを怖がり避けてしまうこと、一発で相手に当たり（飛び込む）に行ってしまうこと、キーパーポジションのポジションを経験していないので、実践でルールを覚える機会であることから、キーパーからのボール配球などで失点を多くして

しまったことなどがあげられ、今後の練習で課題を克服していきたいと思います。

出来事

L100 チームとの試合がお互いに本気モードが見られ、観戦者を楽しませてくれました。また、常葉 SSS さんは選手数が足りなかったため、助っ人でアーレが応援に入りましたが、やはり他のチームに入るプレーはやりづらそうでした。

E4 報告 (大森)

テーマ

大会が初めてという選手達が多くルールをわかってもらうこと。
また、試合の経験をしてもらい今ある力を出しきること。

良かったところ

全試合に渡り相手のゴールヘドリブルで仕掛ける姿勢が多く見受けられました。
試合でない時にはみんな仲良く行動していましたね。

課題

駆け引きが出来ていなくドリブルする相手に飛びこんでしまったり、足先でボールを奪おうとしていました。
ボールばかりで周りが見えていない。
キックもしっかり蹴れていない。(インサイド●インステップ)
今後の練習でしっかり取り組んでいきましょう。

出来事

アーレ対決はやりづらそうで下のクラスの選手達の勢いが凄く、やられていました。

J2・E3 報告 (小松)

テーマ

とにかくあきらめないで頑張ること
常にまわりを考えてみんなを助けるプレーを心がけること

良かったところ

大なり小なりの勝敗はありながらもすべての試合でアーレらしい爪痕が残せた戦いが出来ました。体格体力走力などすべてが劣る試合の中素晴らしい戦いをしてくださいました。保護者の皆様にも選手達の頑張る "何か、は少なからずやお伝え出来たかなと考えています。
個の能力の得点を決めるや活躍するからよりサッカーを好きになる、仲間意識が芽生え親より仲間のそばに居たりチームやアーレに愛着が湧いたり素晴らしい 2 日間だったと思います。

出来事

2 日間ある程度選手戦士として戦って欲しいので経験させるべき階段をあらかじめ私の方で設定させて頂きました。
まずキーパーはキャプテンを中心に決めて基本的 1 度プレーすればそれで終わりとなりました。

ただし自選の場合は気持ちを考えて欲しい逆に束になって押し付けで決定しないで欲しいと。

もちろん責任はコーチです

責任はコーチなのでキーパーではなくサッカーをやって欲しいと設定しました。

とにかくボールに向かっていきフィールドのようにプレーして欲しいと。

ある場面では女子選手がキーパーでしたが相手選手と 1 対 1 となりその駆け引きでボールを弾いてくれました。あの決定的な場面で人として自立した瞬間だったと確信しています。

またある場面ではキーパー自らがフィールドへアタック相手ゴール前まで迫りました。これも私の判断ではありません。

理屈や概念ではなく自分の戦いとして相手フィールド内アタックをしてくれました。たとえその瞬間成功、不成功でもそのプレーは選手のもの人生なのです。素晴らしい人生だと思えます。

また次の場面では、味方ピッチからドリブルで駆け上がり相手 DF をかわしながらも背負いつ相手キーパーのポジションを確認してフィールド中央辺りから相手ゴールへ流し込みゴールを奪い取りました。

上の学年相手にこのプレーは大人でも大変難しく非常にクリエイティブなプレーでした。

このポテンシャルには創造性を感じずにはいられませんでしたね。

その後の女子選手は相手懐にうまく身体を入れることが出来相手ゴール前まで駆け上がっていました。

保護者の皆様には、選手対大人でコーン当てのお手伝いをお願いしていますが随所にこのお手伝いの成果が身を結んでいると感じました。

本当に日頃から選手達の影に日向にありがとうございます。

ただ良い事の反面改善点もあることも事実です。

気分が乗らないと足が動かないので上手にセルフコントロールをしてそれでも戦える選手になって欲しいと思えます。

大人でも難しい気の持ち方ですが若い世代から物事を好転させる術を身につけ生活やサッカーを好転させて欲しいと思えます。

またチーム、仲間も同様です。

初めての試合で自分の事だけとなってしまう部分がありました。

得点シーンなどいい場面ではみんなが迎えに行ったり迎えられたりしていましたが...

ピンチや失点場面では選手が孤立する場面がありました。ピンチや失点場面でこそ仲間や味方を感じられたらこれほど心強いことはありません。まだまだ若い世代ですが若いなりの仲間意識深めて欲しいと思えます。

技術的側面はこれから幾らでも吸収し無限の可能性が 있습니다。

ただメンタルは、その時々を経験体験からしか学べません。

サッカーにはこんな言葉があります

サッカーは子供を大人にし大人を紳士にさせる

この言葉通り選手と一緒に成長していきたいと思います。今後ともどうぞよろしく
お願いします。

また最後となりましたが試合によっては、レギュレーション変更を快諾して頂いた
参加チームの皆様本当にありがとうございました。

選手達にとって初めての試合経験、素晴らしいサッカー人生の 1 歩となりました。
それから大会スタッフを見かねて片付けをお手伝いして頂いた保護者の皆様、チー
ムスタッフの皆様本当に助かりました。

この手作り感が空港フェスだなと改めて感じサッカーファミリーになった瞬間でも
ありました。遅くまでありがとうございました。

2 日間に渡りたくさんの思い出が出来ました。

本当に関係各位の皆様ありがとうございました。

また空港フェスでお会いしましょう。

よろしくをお願いします

終わりに（設楽）

相手チームの皆様には試合で交流ができたことに感謝し、保護者の皆様には、朝早くから
子どもたちの送迎や温かい応援をいただきありがとうございました。会場の準備や片付け
にご協力もいただき、スタッフ一同本当に助かりました。ご協力をありがとうございました。

子どもたちは日々の練習を繰り返し、年間を通して数少ない試合を新鮮に感じ、万全の
体制で戦う機会に向き合いながらいろんな経験をして大きく成長していきます。大会での
試合は勝敗があるため、サッカー技術や体力の差もあることから平等に出場ができること
もありますので、今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

そして、主催者様、コロナ禍で大会を開催していただきありがとうございました。

最後に、会場に卒団した OB が応援に来てくれました。嬉しかったです。ゆうとくん、
にじかちゃん、まなちゃん、わざわざ空港公園まで後輩たちの応援に来てくれてありがと
う！今年開催予定の 20 周年記念イベントにも是非来てくださいね！







